

事務事業名		市債事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	財政課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	財政係	担当課長名	金子好雄	
	施策	2 持続可能な財政運営の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 歳入に見合った歳出構造への転換					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1018	一般	2	1	4	市債事務					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	地方自治法、地方財政法		任意的事業・義務的事業		
							実施方法		直営		
							事業分類		その他内部事務事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
(ア)建設事業等を行うのに必要な資金を調達するため、市債を借入れる。 (イ)当該年度における地方財政の財源を補てんするための市債を借入れる。			(ア)新庁舎建設事業、(仮称)よねやま保育園整備事業、佐野田沼インター周辺公共施設整備事業等の借入事務を行った。 (イ)臨時財政対策債の借入事務を行った。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			(ア)の市債の件数	件	30	31	20			
			(イ)の市債の件数	件	1	1	1			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
(ア)市債を充てる建設事業等 (イ)当該年度の財源不足額			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市債を充てる建設事業等	件	23	22	20			
			当該年度の財源不足額	千円	2,400,000	2,050,000	1,970,000			
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
(ア)予算に基づき必要額を借り入れる。(建設事業等) (イ)予算に基づき必要額を借り入れる。(臨時財政対策債)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			建設事業等の市債借入額	千円	1,335,300	2,987,900	2,198,400			
			財源不足等を補てんする市債借入額	千円	2,400,000	2,050,000	1,970,000			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
健全財政が維持されている			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			実質公債費比率	%	6.3	5.6	10.0	10.0	10.0	

(2)総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	271	276	281					
	事業費計(A)	千円	271	276	281	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			普通旅費	3	消耗品費	4	普通旅費	3		
			消耗品費	3	保守委託料	272	消耗品費	5		
保守委託料			265			保守委託料	273			
人件費	人	2	2	2						
のべ業務時間	時間	400	400	400						
人件費計(B)	千円	1,556	1,576	1,576	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,827	1,852	1,857	0	0				

事務事業名	市債事務	担当部	総合政策部	担当課	財政課	担当係	財政係
-------	------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	建設事業等を行う際の財源とするため、地方自治法第230条の規定により昭和22年から市債を起こせるようになった。また、地方財政の財源不足を補てんするため平成13年度から臨時財政対策債を起こせるようになった。実際の市債を起こし始めた年度は不明である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	合併特例事業債については、平成26年度までが事業期限であったが、新市建設計画の変更等により10年間延長し、平成36年度までの活用が可能となった。本市の設ける合併特例事業債の発行限度額は、総務省が示した総額である350億円程度に変更を行った。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	毎議会において、市債残高の推移、公債費の動向や実質公債費比率等の財政指標についての質問がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市が実施する建設事業等に充てるためや地方財政の財源不足及び減税の実施による地方税の減収を補てんするための市債を市債残高を考慮しながら必要額借入れることにより、健全財政の維持が図れるので政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市の財政運営に関することで市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	健全な財政運営を維持するために、当該年度に必要な分の市債(財源)を借入れることで、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	市財政の現状と後年度の財政負担を考慮した結果であり、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は、主に電算の保守委託料であり、削減の余地はない。 人件費は、起債事務についての県とのヒアリングや、書類等の作成のための最低限のものであり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	市の財政運営に関することであり、受益者は市民全体となるため、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
地方債の発行と償還事務がなくなった場合、この事業は廃止できる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					